

安城市内景況調査結果 (平成25年4月～6月)

〈 緩やかな回復の兆しではあるが、コスト上昇などにより先行きに懸念 〉

1. 調査対象 対象企業数 会議所役員・会員事業所 70企業
 2. 調査対象時期 平成25年4～6月期

(1)前年同期(平成24年4～6月)と比べた今期の状況
 (2)今期と比べた来期(平成25年7～9月)の先行き見通し

3. 企業数内訳

	製造業	小売・卸業	建設業	サービス業	計
企業数	25	15	14	16	70
構成比	35.7%	21.4%	20.0%	22.9%	100.0%

安城市内の今期の業況判断DIは、前年同期と比較し△12.9ポイントと下降した。建設業の業況判断DI・売上高DIの上昇が著しいものとなった。

来期の業況判断DIについては、7.1ポイントと今期より上昇を見込んでいる。売上高DIがプラスではあるが、収益状況DIと雇用人員DIがマイナスと下降した。

	前年同期比 (前回)	前年同期比 (今回)	来期の 見通し
業況判断	1.4	△12.9	7.1
売上高	6.9	△25.7	20.0
売上単価	△19.4	△31.4	△8.6
資金繰り	0.0	△7.1	△7.1
借入難度	3.6	2.9	△7.1
収益状況	△12.5	△25.7	△2.9
雇用人員	△13.9	△12.9	△10.0

凡例▶ 30以上 10を超える 10～△10 △10を超える △30以上

		全産業									
		製造業		小売・卸業		建設業		サービス業			
前年同期対比	業況判断	△12.9		△20.0		△20.0		14.3		△18.8	
	売上高	△25.7		△40.0		△46.7		0.0		△6.3	
	売上単価	△31.4		△52.0		△60.0		14.3		△12.5	
	資金繰り	△7.1		△4.0		△33.3		14.3		△6.3	
	借入難度	2.9		12.0		△6.7		21.4		△18.8	
	収益状況	△25.7		△24.0		△46.7		0.0		△31.3	
	雇用人員	△12.9		12.0		△33.3		△28.6		△18.8	
来期の見通し	業況判断	7.1		16.0		20.0		0.0		△12.5	
	売上高	20.0		16.0		20.0		21.4		25.0	
	売上単価	△8.6		△20.0		6.7		0.0		△12.5	
	資金繰り	△7.1		0.0		△33.3		7.1		△6.3	
	借入難度	△7.1		12.0		△33.3		7.1		△25.0	
	収益状況	△2.9		0.0		△6.7		7.1		△12.5	
	雇用人員	△10.0		0.0		△20.0		0.0		△25.0	

※DIとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目について「増加」(好転、やや好転)した企業割合から、「減少」(やや悪化、悪化)した企業割合を差し引いた値である。例えば、売上で「増加」25%、「不変」60%、「減少」15%の場合のDIは、25-15=10となる。

今後も、四半期ごとに景況調査を実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願いたします。
 なお、詳しい指標は、当所ホームページの「景況調査」のページをご覧ください。